

令和元年度 校種別区別研修会 実施報告

命の尊さと大切さを、子供と共に学び成長するために

令和初の校種別区別研修会が開催され、本当にたくさんの方々にご参加いただき、大変素晴らしい、実りある研修会になりましたこと、心より御礼申し上げます。

報告書から感じましたのは、今年は特に「命の尊さ・大切さ」に主眼を置いた研修会が多かったように見受けられました。

大変悲しい事ですが、子供たちの「虐待死」「自殺」に関するニュースが年々増加しています。そんな「命の尊厳」が軽視されている現実、目を背けず、正面から取り組んでいただき、子供たちと共に、私たち大人ももう一度、「命の尊さ」を考える研修会は、とても意義のある、大切に素晴らしいものだと思います。

そこには「子供たちを守りたい!」という皆様の熱い想いと愛情が、ひしひしと伝わってきます。

参加された皆様それぞれに、思う事は違うと思いますが、ご自身にとって何か1つでも気づいたもの、感じるものがあつたのであれば、各研修会を企画・運営されたPTA会員の皆様の想いも伝わったのではないのでしょうか。

最後になりますが、世界中で問題になっております、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえた自粛要請を受け、中止せざるをえなかった研修会もあったと聞いており、開催に向けご尽力された方々のお気持ちを考えますと、非常に残念でなりません。

しかしながら、日々の生活と仕事に大変ご多忙な中、子供たちのため、私たち保護者の相互理解を深めるために、一生懸命研修会の企画・運営に携わってくださったPTA役員の皆様、そしてその想いを感じてくださり、お忙しい中ご参加いただきました会員の皆様に、協議会を代表いたしまして、心から感謝いたしますとともに、全ご家庭の皆様、地域の皆様が、幸せな笑顔で暮らせる未来を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

神戸市PTA協議会 会長 三浦 国英

令和元年度 校種別区別研修会 実施報告

INDEX

幼稚園 PTA 連合会（2 区）・・・・・・・・・・ P 1

小学校 PTA 連合会（8 区）・・・・・・・・・・ P 3

（垂水・西区については、市 P 協賛成は受けずに開催）

中学校 PTA 連合会（10 区）・・・・・・・・・・ P11

高等学校 PTA 連合会・・・・・・・・・・ P22

特別支援学校 PTA 連合会・・・・・・・・・・ P23

*この報告書に関しては、各担当者の標記を尊重しており、表現・言葉使いなどの統一性が見られない場合がありますことをご了承ください。（なお落丁等は事務局までお知らせください。）

神戸市 P T A 協議会

神戸市中央区東川崎町 1-3-2 神戸市総合教育センター内 (078) 360-3453

幼稚園PTA連合会（東灘・灘・北・長田地区）

東灘・灘・北・長田区家庭教育支援事業

親子で遊ぼう「みんなげんき！親子で遊ぼう！」

講師：山田 美紀子・米田 和正・源 悦子（みんなげんきジム）

開催日時	令和元年11月27日（水）13：00～15：00
会場	神戸市立東灘体育館
参加者	96人・親子77組（P・幼稚園）
配布物	案内チラシ400部
他助成金	なし

内容	13：00 受付 13：00 はじめの会 13：25 親子で遊ぼう 14：35 おわりの会 15：00 閉会 ・保護者が親子と一緒に体を動かしたり、なかよし遊びをしたり、ゲーム遊びをしたりする中で、親子のふれあいを楽しむ。
----	--

研修のねらい	・保護者が親子と一緒に体を動かしたり、なかよし遊びをしたり、ゲーム遊びをしたりする中で、親子のふれあいを楽しみながら、子育ての楽しさを感じられるようにする。 ・大勢の人々とのふれあい、楽しさを共感する中で、子供同士だけでなく、保護者の仲間作りにもつなげ、安心して子育てができる環境作りを行いたい。
--------	---

成果と課題	・親子と一緒に体を動かしたり、ふれあいを楽しんだりしながら、笑顔と歓声が体育館いっぱいに広がった。大勢の人々とのふれあい、楽しさを共感する中で、子供同士だけでなく、保護者同士もふれ合う事で心弾む時間となった。 ・講師山田先生、米田先生の指導を通して、多様な動きを経験するとともに、源先生の軽快な音楽に合わせ、リズムカルに体を動かす心地よさを味わうことができた。 ・幼児期に家庭で十分に親子のスキンシップを取ることが、幼児の成長過程の中で大切であることを実感した。実施時間が午後になるため、小学生の子供を持つ保護者の参加が難しいことが課題である。
-------	--

幼稚園PTA連合会（中央・兵庫・須磨・垂水・西地区）

神戸市立幼稚園 PTA 連合会シンポジウム

（中央・兵庫・須磨・垂水・西地区家庭教育支援事業と兼ねる）
笑顔が花咲くKOBECOCO ～うちの子育て花咲くアイデア～
講師：北野 幸子（神戸大学 大学院 准教授）

開催日時	令和元年 11 月 6 日（水） 10：00～11：50
会場	神戸市総合教育センター
参加者	180 人（P・幼稚園）
配布物	案内チラシ 100 部 当日資料 250 部
他助成金	なし

内容	<p>シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none">・3人のシンポジスト（玉津第二幼、たまつ幼、小東山幼）からそれぞれ の家庭での子育てについての実践を発表し、コーディネーター には、幼児教育への深い愛情と理解をもって研修を重ねられている 神戸大学 北野幸子先生を迎え、指導助言をいただいた。子育てに 答えはない。忙しいけれど親子の関係性が希薄化しないようにする ことが大切であると教えていただいた。・参会者から質疑を受け、意見交換を行い、日頃の子育ての悩みをみ んなで考え合う温かな時間となった。
----	--

研修のねらい	<ul style="list-style-type: none">・シンポジストの方々の子育てについての実践発表を受けて、参会者 が意見交換を行い、自らの子育てを振り返ったり、自分の子育てに 取り入れたりする。・コーディネーターの指導助言を参考に、家庭教育の果たす役割や子 育ての大切さについて語り合い、考え合う場とする。・参会者が、各単位PTAに持ち帰り、心豊かな子供に育てるために、 家庭・幼稚園・地域社会の連携を図りながら具体的、実践的な取り 組みを進める。
--------	---

成果と課題	<ul style="list-style-type: none">・シンポジスト3名の方の他の子育てについての実践発表を受けて、 子育てに不安を感じている保護者一人一人がこれからの子育てに前 向きに、元気になれる時間となり、家庭教育の役割について希望を持 って考えることができた。・参会者が単位PTAに持ち帰り、心豊かな子供を育てるために、家庭・ 幼稚園・地域社会の連携を図り、具体的・実践的につなげようとする気 持ちになれた。
-------	--

東灘区小学校PTA連合会

東灘区PTA連合会

影 絵 劇

講師：劇団スタジオライフ

開催日時	令和元年12月7日(土) 10:00~11:30
会 場	神戸市立東灘小学校 4Fアリーナ
参加者	688人(P)
配布物	案内文書・チラシ9,000部 当日資料400部 アンケート400部 チケット800部
他助成金	区P連

内 容 1つ目の作品をまず見る。(約25分)
ワークショップ(30分)で実際にどういう風に作られているのかと、どのように映っているのかという、制作について学習した後、2作目を鑑賞する。

イメージしていた影絵とは違い、とてもきれいで美しい照明が幻想的だった。美しい日本語と、日本文学に触れる良い機会となった。語り部の方はとても上手で楽しく、ワークショップでの即席物語もとても面白く、子供たちの笑い声をたくさん聞くことができ、嬉しい気持ちになった。参加者からは「1時間半もあったとは思えなかった」「影絵を初めて見た」など、絵本やアニメとは違った内容に、良い経験ができたなど、感想をいただいた。

研修のねらい 大きな影絵劇を見る機会はあまりないと思うので、実際に目で見てみると、光によってどう映っているのか、大きく動いている人形たちの実物の大きさはどれくらいなのかなど教えていただき、学習し、子供たちにいろいろなことに興味を持ってもらいたい。

成果と課題 光と影で作られたとは思えないほど素敵な作品で、本当に美しく幻想的であった。ワークショップでは、子供たちが実物の人形を持って表現し、それをみんなで見て楽しむことができ幸せな時間を感じることができた。参加者からも「クオリティーが高く世界観が素敵だった」「参加型で楽しく、おもしろかった」など嬉しい意見をいただき、「影絵」を知ることができた。

灘区小学校PTA連合会

子どもの心のぞいてみませんか？

講師：栗木 剛

(MOTTOひょうご事務局 コミュニケーション麻雀協会 理事)

開催日時	令和元年 11 月 19 日 (火) 9:45~11:15
会場	神戸市立灘区民ホール5F マリーホール
参加者	220 人 (P・地域・学校)
配布物	案内文書・チラシ 1,500 部 当日資料 400 部 アンケート 400 部
他助成金	区 P 連
内容	<p>① 「楽しくなくっちゃ講演会じゃない」をメインテーマに人の心をおしゃべりでほんわか耕す舌耕家として、各種研修、講演会等の通算件数 6000 (23 年間) をこなす栗木氏による講演会。</p> <p>② 子どもからの SOS 発信にどのように気づき、いかに子供の心に寄り添うことができるか。主に小学校高学年の児童との関わりについての講演会。</p> <p>栗木氏による講演で、先生のキャンプリーダーとしてのご経験からキャンプを通して見えてくる各家庭での育ちや、子供自身の悩み、また親としての心構え (子供の意志を尊重し信じること、親が子供の舵取りをしてはいけないこと等) を聞き、とても楽しい講演会だった。また「最近の子育ての悩み」など隣の人同士で話し合う時間もあり、参加者との意見交換も行った。</p>

研修のねらい	子育てに自信がなく、虐待・ネグレクトなどの社会問題が増えている昨今、私たちは今一度、子供の心をのぞいて、親子で心を通わせることが大切ではないだろうか。純粋な心の子供たちが、より良く成長していくために、親のあり方とは何なのかを改めて学ぶ機会とし、今後の子育てに活かしていけることを願っている。
--------	---

成果と課題	子供の主体性を尊重する子育てという点では、興味深く聞いている保護者が多く、親子の関わり方を再度考えられる場となったのではないかと思う。また PTA 活動を通して、保護者同士が異学年の子供を持つ親と知り合え、情報交換し合えるという点においては、とても意義深いものとなり、参加者が共感できる内容であった。研修会に自主的に参加しようという親は少なく、各校から動員する形となったので、今後研修会においての人員確保が難しくなってくるのではないかと危惧している。
-------	---

中央区小学校PTA連合会

家庭向け防災セミナー

講師：船木 伸江

(神戸学院大学 現代社会部 社会防災学科 准教授)

開催日時	令和元年 10 月 7 日 (月) 10:00~12:00
会場	神戸芸術センター 会議場 504
配布物	案内文書・チラシ 3,000 部 当日資料 50 部
参加者	45 人 (P)
他助成金	区 P 連

内容	<p>災害大国に暮らす私たちにとって、必要な防災力、また自然災害に対する理解を深める。中でも家庭で取り組める防災について学ぶ。</p> <p>「防災ゲーム・クロスロード」というトランプ大のカードを利用したゲームを行った。</p> <p>あなたは市民で、地震で自宅は半壊状態。家族そろって避難所へ。ただ、日頃の備えが幸いして、非常持ち出し袋には水も食料も3日分はある。一方避難所には水も食料も持たない家族多数。その前で非常持ち出し袋を開ける？ などの問題に対して、参加者が YES か NO かで災害対応を自らの問題として考え、判断してもらった。その後、自分とは異なる様々な意見や、価値観を参加者同士で共有することを目的とし、意見交換をした。</p>
----	--

研修のねらい	<p>いつ起こるかわからない自然災害に対し、ただ不安に感じるのではなく、子を持つ親として家庭でできる防災を学び、正しい知識を身に付ける。また講演をきっかけに、各家庭で話し合い、防災への意識を親子で高めてもらいたい。</p>
--------	---

成果と課題	<p>家庭でできる防災とは何なのか。いつ起こるかわからない自然災害に対し、必要な防災力に対する理解を深めた。いざという時、子供を守るにはどうすればいいのか。ただ 不安に感じるのではなく、子を持つ親として家庭で取り組める防災を学び、正しい知識を身に付けることができた。このような研修をきっかけに、普段から家庭で話し合い、防災への意識を親子で高めていかなければならないと感じた。</p>
-------	---

兵庫県小学校PTA連合会

子供たちのいのちが輝くために
～いのちと性の大切さをどう伝えるか～

講師：永原 郁子

(マナ助産院 院長/いのち語り隊代表・(社) 小さないのちのドア代表理事)

開催日時	令和元年 11 月 14 日 (木) 10:00~11:30
会場	みなとがわホール
参加者	180 人 (P)
配布物	当日資料 150 部
他助成金	なし
内容	助産院長として「いのち語り隊」を立ち上げ、「性を語ることは生きることを語ることを」を信念とされている永原郁子先生による講演会。 (約 1 時間)
研修のねらい	いじめや多発する青少年犯罪、低年齢化する性体験、10 代の人口妊娠中絶や、性行為感染症の増加など。現代社会において親子で「いのち」と「性」の大切さを考える機会としたい。 大切な子供たちのいのちがより輝くようにするために、どう伝えるかを学ぶことをねらいとする。
成果と課題	大切な子供たちが「いのち」を改めて見つめ、子供たちがより輝けるようにする為の、親子関係のあり方についてヒントを多くいただけたことは、大きな成果となった。

北区小学校PTA連合会

命の尊さ・教育と平和の大切さ

～子どもたちの未来のために～

講師：永遠瑠・マリールイズ

(NPO法人ルワンダの教育を考える会)

開催日時	令和元年 11 月 29 日 (金) 9:00~12:00
会 場	しあわせの村研修館 (ホール)
参加者	150 人 (P)
配布物	案内文書・チラシ 200 部 アンケート 100 部
他助成金	区P連

内 容

永遠瑠・マリールイズ氏は、ルワンダ内戦を生き抜いて子供と共に難民キャンプに逃れ、日本での技能研修時代の友人の尽力で来日。NPO「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げ、母国に学校を設立。東日本大震災の被災者経験を経てなお、精力的な支援活動を続けている。彼女の活動を紹介すると共に、彼女の経験を通して得た、命の大切さ、教育の大切さについてお話しいただく。

戦争というものの現実を痛感され、その後来日され、日本での「普通の暮らし」は驚きの連続だったという話をされた。我々が当たり前だと思っていることが、いかに有り難いことであるかということを経験を通して語られる姿に、会場は涙し、命の尊さ、教育と平和の大切さに感動した。

研修のねらい

日本に暮らす我々にとって「安全で平和な毎日」は当たり前のこととして受け取っている。その当たり前がいかに大切なことであるかということの子育てに関わる大人がしっかり再認識し、子供の教育の重要性を改めて考えてみることは、これからの時代を担う子供たちを育てていく上で非常に重要ではないかと考え、この研修会を企画した。

成果と課題

私たちが親として経験してきたこと(母子手帳や就学通知書)も当たり前ではなく、日本という国が平和で、国が子供を見守るという仕組みをきちんと持っているからこそその恩恵であり、教育も同様に子供たちの未来のために、本当に必要なことなのだと再認識することができた。

北神地区小学校PTA連合会

気づけば簡単！

～子供の才能を引き出す魔法の言葉～

講師：石川 夕起子

(兵庫大学現代ビジネス学部教授・G-nius5 認定トレーナー)

開催日時	令和元年 10 月 29 日 (火) 10:00～11:40
会場	北神区民センター ありまホール
参加者	260 人 (P・地域・学校)
配布物	案内文書。チラシ 4,100 部 アンケート 400 部
他助成金	区 P 連
内容	<p>子供たちの才能を育てるための言葉かけ、夢の叶え方 (イメージトレーニング) に関する講演会 (90 分)</p> <p>子供たちがその気になる言葉かけを、写真などで分かりやすくつたえていただき、また、親自身が満たされていないと、そのまま子供たちに伝わるのでまずは親が「そのままが良いんだ」と思うことが大事であるということ、ご自身の失敗談を踏まえてお話しいただいた。</p>
研修のねらい	<p>子育てで大切な親子間のコミュニケーション。その中でも特に大切な言葉かけ。どう言う言葉かけをすれば子供のやる気を引き出すのに効果的なのか？また、スポーツ界では当たり前になってきているイメージトレーニングを子育てにどう活かすことができるのか？</p> <p>親子揃って毎日をワクワク、目標をもって生活するためのポイントを学ぶ機会としたい。</p>
成果と課題	<p>参加者から、「反省や気づきをたくさん得ることができた。子供との信頼関係を築いていきたい」など、喜びの感想を多数いただいた。</p> <p>参加者が集まりづらかったことは課題である。参加者の大多数からは「また参加したい」という回答をいただいたが、どうすれば講演会に興味を持ってもらえるのかについて知恵を出し合っていくべきだと思う。</p>

長田区小学校PTA連合会

献血が支える命があります
～名前も知らない誰かのために～

講師：毛藤 もと子

(兵庫県赤十字血液センター新長田鉄人前献血ルーム 管理係長)

開催日時	令和元年 10月 28日 (月) 10:00～11:30
会場	長田区役所 7階大会議室
参加者	19人 (P・地域・学校)
配布物	案内文書・チラシ 52部
他助成金	なし

内容	思いやり、気遣い、など、形や言葉では表せない、そんな事柄を子供たちに伝えるにはどうすればよいのか。それらは教えようとしても教えられないものではないから、とても難しい。そんな中、私たち大人が、何気なくとっている日常の行いや振る舞いが、子供たちにとって憧れや目標になることもたくさんある。献血という行為を通して、それを感じてもらうことができるのではないかと考え「今日、こんな話を聞いてね…」と、そんな家族の団らんで話ができるよう、驚きや楽しさを盛り込みつつ、命を繋ぐ大切さについて講演いただいた。
----	--

研修のねらい	思いやり、気遣い、大人から子供たちに伝えられるもの、その一例としての献血。命とは、愛とは？ 自分の中で答えが出せるように、いのちの講演を依頼した。
--------	---

成果と課題	若い世代の献血人口が減ってきている昨今、今回の研修を通して子連れで献血ルームに行っても大丈夫であることを知り、子供たちが献血できる年齢になった時に気軽に献血ルームに行けるよう、親世代の私たちを通して献血を身近なものとして考えてもらえるきっかけとなった。そして、献血を通して誰かの命を救うことができると気づくきっかけとなった。
-------	--

須磨区小学校PTA連合会

親の笑顔が子供を育てる！！
～夢を持てる子供のために～

講師：小崎 恭弘

(「男のこの本当に響く叱り方・ほめ方」著者 大阪教育大学教育学部准教授)

開催日時	令和元年 11 月 14 日 (木) 10:00~12:00
会場	ピフレホール (ピフレ新長田 3F)
参加者	254 人 (P・学校)
配布物	案内文書 チラシ 20 部 当日資料 400 部
他助成金	区 P 連

内容	<p>講師は、兵庫県西宮市初の男性保育士として施設・保育所に 12 年勤務し、3 人の男の子それぞれに育児休暇を取得。それらの体験を持ち男性の育児の視点より、ワークライフバランス・パートナーシップなどの重要性を伝えていただく。</p> <p>講師のこれまでの経験と歩みを映像でご紹介いただくとともに、子育てのあり方や社会の変化に対応するライフシフトへの考えなどをお話していただいた。</p> <p>また、日々の生活の中で感じた子供との向き合い方について、子供と仲良く、ママと子育てを楽しむということをご自身の経験を交えながらお話していただいた。</p>
----	--

研修のねらい	<p>父親として、育児休暇を取得している講師にお話しいただくことで、親として大切にしなければいけないことは何か、パートナーと子供に向き合う姿勢はどうすればよいかなど、一度立ち止まって改めて考える機会としたい。</p> <p>日々の生活の中で埋もれてしまっているかもしれない自分の中に ある「想い」を再確認し、それを原動力として、今年度のスローガン に掲げる「笑顔いっぱい夢いっぱい」を、大切な人とともに夢に向かって 笑顔で歩んでいきたい。</p>
--------	---

成果と課題	<p>本年度のスローガン「笑顔いっぱい夢いっぱい」の想いに合わせ、 「親の笑顔が子供を育てる」～夢を持てる子供になるために～をテーマに 「子育ての終わりはなく」「子供と仲良くなる方法」「子育てを楽しむために」 など、ご自身の経験談を基にお伝えいただき、笑いの絶えない素晴らしい時間を 過ごすことができた。</p>
-------	--

東灘区中学校PTA連合会

平松 愛理 トーク&コンサート

講師：平松 愛理
(シンガーソングライター)

開催日時	令和2年2月29日(土) 13:00~15:00
会場	神戸ファッション美術館 オルビスホール
参加者	400人(P・地域・学校)
配布物	当日資料500部

他助成金 区P連・こうべっ子助成基金

- 内 容
- ①1.17に合わせて阪神・淡路大震災の復興支援ライブを続けるシンガーソングライター、平松愛理さん(神戸市須磨区出身)が、地元出身である神戸の経験から、色々な立場で、トークをしながら思いを歌う。
 - ②参加者によるディスカッションと、有名な曲を最後に共演し、東灘区PTA保護者と一体となって共有する。一部中学校生徒の参加による共演も計画する。

研修のねらい 平松愛理さんは、復興支援ライブを数多く経験している。各地の想いを語っていただき、人の気持ち、人とのつながり、人は一人では生きていけないことについて考える場を作りたい。また、シングルマザーである平松氏の、中学校に入学した時の母親の想いを伝える。そして自分がスターへの道を登るまでの思い、苦労を、PTA保護者と共有することで、子育てに活かせる場もディスカッションし、導き出したい。

成果と課題

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

灘区中学校PTA連合会

子供たちを守るために
～青少年愛護条例の解説・暴力団対策の現状～

講師：兵庫県警察本部 暴力団対策課 暴力団排除 1 係
灘警察署生活安全課 少年係 灘区青少協メディア部会

開催日時	令和元年 10 月 2 日（水） 13：30～15：00
会 場	神戸市立烏帽子中学校 本館 2 階 多目的室
参加者	80 人（P・地域・学校）
配布物	案内文書・チラシ 3000 部 当日資料 200 部 アンケート 200 部
他助成金	区P連

内 容 兵庫県警察本部から、現職の警察官を招き青少年を取り巻く社会の現状についてどのような危険があるのかを話してもらった。そしてその危険から子供たちを守るために定められた、青少年愛護条例や暴力団対策がどのようなものかについて詳しい内容の解説を受けた。さらに、最近トラブルに巻き込まれやすいSNS等の問題にも触れるなど、最新の青少年参加者全体で、最新の青少年健全育成に関わる情報の講義を受けた。

研修のねらい 保護者にとって、子供たちを取り巻く社会問題は大きな関心事である。
保護者として子供たちの周りにはどのような危険があり、それらから子供を守るためにどのようなことが必要なのかを知ることは、子供の健全育成にとって非常に大事なことである。参加した保護者が最新の情報を得ることで、子供を取り巻く環境に対して高い意識を持ち、その情報を、PTA活動から参加できなかった保護者へと広めたい。

成果と課題 終了後のアンケートの感想にも書かれていたことだが、参加者は我が子を取り巻く社会問題に対して強い関心をもっていた。そして保護者として子供たちの周りには、具体的にどのような危険があり、それから子供たちを守るために必要なことを理解し、情報を共有できたのではないかと考える。
今後も同様な内容の研修を行ってほしいという意見も少なくなかった。

中央区中学校PTA連合会

落語から学ぶコミュニケーション術

講師：桂 三四郎

(落語家)

開催日時	令和元年9月25日(水) 15:00~16:00
会場	神戸市立湊翔楠中学校 体育館
参加者	200人(P・学校)
配布物	案内文書・チラシ1000部 当日資料200部 アンケート200部
他助成金	区P連

内容	桂 三枝(現 桂 文枝)に師事し、天満天神繁昌亭や、新宿末広亭など、東西問わず寄席などで活躍する桂 三四郎氏を迎え、落語の世界を引き合いにコミュニケーションの大切さやその意義について講演いただいた。落語は2席披露していただき、「ことば」や「心」が生み出す力を体感した。
----	--

研修のねらい	多様化する情報社会において、親と子、親と学校、また親同士の心の通ったコミュニケーションがますます重要になってきている。中学生を育てる立場でのコミュニケーション術を身に付けるヒントとなる研修としたい。
--------	---

成果と課題	親と子、親と学校、また親同士のコミュニケーションの一助となるヒントをいただいた。特に、「あいさつ」の大切さを強調され、現代社会を行き抜く上で重要であることを再確認する研修となった。
-------	--

兵庫区中学校PTA連合会

命の大切さ・大人がもっと夢を語ろう

講師：小西 博之

(俳 優)

開催日時	令和元年 12 月 7 日 (土) 11:00~12:00
会 場	湊川ホール
参加者	210 人 (P・地域・学校)
配布物	案内文書・チラシ 2,000 部 当日資料 250 部
他助成金	こうべっ子助成基金 区 P 連

内 容	<p>俳優 小西博之氏による講演会。</p> <p>PTA保護者、学校（生徒にも呼びかける）に参加していただき、命の大切さを知ってもらおう。</p> <p>小西氏から生存率 2%と言われた癌の闘病生活から復活し、もう一度生きることが許された自分に与えられた役目、それは「子供たちの自死をなくしたい」ということ。「子供たちを絶対に死なせてはならない」と強く思い、大人ができることについてユーモアを交え講演いただいた。子供たちの自殺をなくすためには、「大人が夢を持つこと」「子供に語りかけること」など、自身の人生のターニングポイントの話を交えながら子供に夢を持たせるには大人が夢を持ち、楽しみ、頑張る姿を見せることが大事だという強いメッセージをいただいた。</p>
-----	--

研修のねらい	小西氏の経験を通じて、命の大切さや、夢を語っていただき、参加者に共感していただく。
--------	---

成果と課題	<p>小西氏の講演で、大人はもっと子供に接し、頑張らなくてはならないと、前向きに、明るい気持ちになれた。「不登校＝家大好きっ子」など、当たり前のように使っている言葉の意味を少し他の言葉に変えてみる。今まで気づかなかったことを小西氏の視点から教えていただいた。多くの参加者に笑い、涙、感動を与え、心に響く話だった。</p> <p>参加した皆さんが有意義な時間を過ごすことができた良い研修会となった。</p>
-------	--

北（南）区中学校PTA連合会

自分で考える力、たくましく生きる力を育てるための関わり方

講師：土元 紀子

（一般社団法人マザーズサポーター協会所属 バアリンク代表）

開催日時	令和元年 10 月 24 日（木） 13：30～15：30
会場	神戸市立鷗台中学校 多目的室
参加者	57 人（P・学校）
配布物	案内文書・チラシ 200 部 当日資料 65 部 アンケート 65 部 ポスター
他助成金	区 P 連

内 容 思春期の子供の心、力を伸ばすコミュニケーションなど、数多くのセミナーを行う土元氏による講演。

研修前半は親子関係やパートナー、趣味、仕事において自分は何%満足しているか自己採点し、その採点で足りない部分は何があるのか？ ペアになってお互いの目指す姿を What, Where, When, Who で質問し合う事で何ができるか考え合った。子供の話を書く時もしっかり耳を傾ける。すなわち傾聴を心掛ける必要があり、そのポイントとして、①思いを受け取る。②評価判断をしない。③相手に興味関心をもって向き合う。④相手の人生の今までの時間と未来への時間に敬意を払う。この4点を大事にし、関わることで、子供に考える時間を与えることができる。

研修のねらい 思春期の子供にどのように関わるべきか分からぬまま過ごすのではなく、子供たちをしっかりと支えられる親でありたいという思いを土元氏の講演からヒントを得て、より良い親子関係を築けるような場としたい。

成果と課題 思春期の子供は自分から話すことが減り、親子で話す機会も日常生活の最低限の会話だけになってしまう。そこで、子供が話した時に手を止め、目を見て話を聞く必要があることを学んだ。これは、子供だけでなく PTA 会員の皆様や、先生との話し合いにおいても活かせることではないだろうか。評価判断してしまいがちなところに気を付け、互いにより良い関係を築いていくことへつなげたい。

北（北）区中学校PTA連合会

令和元年度 北神区中学校PTA研修会

「親の心・子の心」

開催日時	令和元年 11 月 13 日（水）16：00～18：00
会 場	神戸市立唐櫃中学校
参 加 者	132 人（P・地域・学校）
配 布 物	ディスカッションまとめ冊子
他助成金	こうべっ子の家庭・地域教育活動助成基金

内 容	<p>北神地区 9 校の代表生徒による「主張大会」 テーマは「私が大切にしたいもの」</p> <p>北神地区の各校保護者（PTA 会員）、地域住民の方々にご参加いただき、その方々の前で子供たちが主張作文を発表。発表を受け、保護者、地域住民でグループワーク（ディスカッション）を行い、中学生の考え方、思いを共有。理解を深める。</p> <p>さらに共有した内容を冊子にまとめ、北神地区の方々にも中学生の考え方、思いを理解していただく。</p>
-----	--

研修のねらい	<p>教育の一環として、人前で正しく報告（発表）できる場を、中学生に与えることと、今の中学生の考え方、思いを「大人」たちが知る機会となり、「子供の心」への理解を深めることができる。</p> <p>また、参加保護者のディスカッションした内容を冊子にまとめ、全 PTA 会員等に配布することで、当日参加できなかった方々も、中学生に対する理解を深めることができる。</p>
--------	---

成果と課題	<p>代表生徒が自分の考えを表現する機会と、それを受けて保護者等の間でディスカッションする場を設けることで、今の中学生への理解や子供に対する親の心の共有を図ることができた。例年になく、多くの保護者に参加していただくことが可能となり嬉しい限りである。</p> <p>また、ディスカッションの結果を冊子にまとめ、全 PTA 会員等に配布することで、当日参加ができなかった方々にも中学生に対する理解を深める機会を与えることが可能となった。</p>
-------	--

長田区中学校PTA連合会

「学習支援ツール」の活用

講師：梶川 満理子
(日本コスモトピア CJ)

開催日時	令和元年11月20日(水) 15:00~16:00
会場	神戸市立長田中学校 PC教室
参加者	21人(P)
配布物	案内文書・チラシ2000部 当日資料50部 アンケート50部
他助成金	なし

内容	<p>中学校で全校配布されている学習支援ツール「みんなの学習クラブ」の活用法についてインストラクターから説明を受ける。</p> <ol style="list-style-type: none">① インストラクターによる「みんなの学習クラブ」操作説明。② 各校ごとにPCを操作し、テキスト、マルチメ解説について共通理解。グループワークの後、ワークショップ研修。③ 各班で出た活用法、改善点をシェア。
----	--

研修のねらい	家庭学習における支援ツールの活用方法を研修することで、家庭学習をより充実させ、PTA会員の資質向上を目指す。
--------	--

成果と課題	全市配布されている学習支援ツールについて理解を深め、授業だけでなく、家庭学習の具体的な、実践方法について討議し、工夫点や改善点にまで言及することができた。今後、各单位PTAで利用法を広げ、学力の底上げを図っていくことが課題である。
-------	---

須磨区中学校PTA連合会

親が変われば子供は変わる！

～アンガーマネジメントで変えよう！子供への接し方～

講師：簗島 章

(怒りの取り扱いアドバイザー)

開催日時	令和元年11月13日(水) 10:00～12:00
会場	神戸市立飛松中学校 武道館
参加者	97名(P)
配布物	案内文書・チラシ500部 当日資料220部
他助成金	区P連

内 容

子供へ求める親の理想や願望が実はイライラの原因。

親がどうすればイライラせずに子供へ関わることができるのかを、アンガーマネジメントの手法や、元中学校教師の経験と、自分自身の子育ての経験を踏まえて、笑って楽しみながら学ぶ。

怒りの感情はどうして怒るのかを分かりやすく解説し、上手につき合うための対策について笑いを通して素晴らしい話が聞けた。子供に必要な自己肯定感を高めるには、長所も短所もすべて無条件で認めることが重要で、リフレーミングにより角度を変えた見方を習慣にするなど、有効な方法を学んだ。笑顔の子育てにつながる講演だった。

研修のねらい

日々忙しくしている保護者と、思春期で多感な中学生が接する中で、お互いイライラが増しているように思える。子供たちに求めるのではなく、親がどう変われば良い親子関係が築けるのか。まず、親自身が学び、笑顔で子育てができる「気づき」と「学び」の時間となれば。

成果と課題

感情的にならず相手と向き合うための方法を教えていただいた。近年、すぐにキレて、事件を起こす人が増え、問題になっているが、この研修で教わった、アンガーマネジメントを実践すれば、家庭内だけでなく、社会においてもお互いが気持ちよく生活できるようになるのではないかと。また今回の研修は子供たちにも有益であるように思えた。

今後、開催校の生徒も一緒に参加できるような研修会を検討してはどうかと思う。

垂水区中学校PTA連合会

生命の大切さを考える
～終着駅のないレールを走り～

講師：高松 由美子

(特定非営利活動法人ひょうご被害者支援センター理事)

開催日時	令和元年 11 月 20 日 (水) 15:00~16:30
会場	神戸市立福田中学校 体育館
参加者	170 人 (P・学校)
配布物	案内文書・チラシ 5500 部 当日資料 180 部 アンケート 180 部
他助成金	区 P 連

内 容	<p>平成 9 年 15 歳の長男が、同級生を含む少年 10 名から集団暴行を受け殺害された。高松氏は平成 14 年の特定非営利活動法人ひょうご被害者支援センターの設立に関わり、現在理事を務める。</p> <p>遺族の母としての想いを語っていただき少年法により、加害者への怒りなどをぶつけるところもなく、ただ苦しさ、辛さ、無念さを抱えて長い間、過ごしてきたと思うと胸が苦しくなった。今回、「いじめの怖さ」「生命の大切さ」を改めて知ることができた講演だった。</p>
-----	--

研修のねらい	<p>高松氏が体験した、このような残虐な出来事が、時が過ぎていくに従い、風化していくことが多く、遺族の重い傷だけが残り、孤立感を抱くことも少なくない。私たちはこのような現状があることを知り、人との関わり方の大切さ、生命の大切さ、生きることのすばらしさをたくさんの人と共有し、より良い社会に向けての意識が更に向上することを期待したい。</p>
--------	--

成果と課題	<p>ひとの人生、家族の人生、自分の人生を変えてしまう「いじめ」「集団暴行」「自殺」など残虐で無念な出来事がなくなるのはなぜか、考え、問い続けなければならない。人との関わり方や自分の居場所の見つけ方など、その中で改めて、いのちの大切さ、生きていることの素晴らしさを常に感じられるようにしなければいけない。</p> <p>今後、さらに社会に向けて発信して欲しい。</p>
-------	--

西区中学校PTA連合会

子どもを守るために知っておきたいこと

講師：本田 英理
(サイバー犯罪防犯センター)

開催日時	令和元年 11 月 30 日 (土) 13:30~16:00
会場	神戸市立西区民センター なでしこホール
参加者	308 人 (P・地域・学校)
配布物	案内文書・チラシ 6000 部 当日資料 400 部 アンケート 400 部
他助成金	区 P 連

内 容	<ol style="list-style-type: none">1. 開会式 神戸市立西区中学校 PTA 連合会会長 開会挨拶2. 吹奏楽演奏会 榎谷中学校吹奏楽部3. 講演会 演題 「子どもを守るために知っておきたいこと」 講師：本田 英理4. 閉会式 神戸市立西区中学校 PTA 連合会副会長 閉会挨拶 <p>今や生活の一部となっているスマホ。親が子供とすぐ連絡が取れ、安心だと思って持たせているが、事件や犯罪、いじめに結びつく原因にもなっている。そんな現代に、サイバー犯罪防犯のプロから最新の情報や、現実に行っている問題について、親としてどのようなことに注意したら良いのかをご指導いただいた。またサイバー犯罪に巻き込まれないために、子供からスマホを取り上げるのではなく、正しいスマホの利用方法を周知し、親子のコミュニケーションを取ることが何よりも大切だと教えていただいた。</p>
-----	--

研修のねらい	親として子供の安全、安心のために持たせているスマホが、世間では、事件事故の原因となっている。いじめや犯罪にも結びつく報道があるたびに、親として不安な気持ちになる。そんな時に、サイバー犯罪防犯のプロの方から最新の情報や現実に行っている問題について聞き、子供のどのようなことに注意したらいいのか。不安ばかりがある中、具体的な注意事項を知ることで子供を守っていききたい。
--------	--

成果と課題	スマホの所有率が低年齢化しており、小学校で 5 割弱、中学生で 7 割以上、高校生では 9 割近くの子供たちがスマホをを持つ時代となっている。 最近ではスマホを介した事件や、犯罪等のトラブルも増えてきて
-------	--

いる。そんな時代だからこそ、「スマホを持たせない！」ではなくスマホの正しく安全な使い方、危険から身を守る方法を教えていただき、多くの参加者から、「子供たちにも講演を聞かせてほしい」「子供と一緒にスマホの使い方を勉強したい」「もっと子供とコミュニケーションを取ろうと思う」などの声をいただいた。身近に起こりうる事だけに、参加する皆さんがとても興味深く聴講いただけ良かったと感じている。またこれを機に、西区から1件でもサイバー犯罪を未然に防ぐことができれば幸いである。

高等学校PTA連合会

令和元年度 神戸市立高等学校PTA連合会秋季研修会

「科学技術イノベーションと人材育成」

講師：和田 和明

(バンドー神戸市青少年科学館 館長)

開催日時	令和元年 11 月 29 日 (金) 14 : 30 ~ 17 : 00
会 場	バンドー神戸青少年科学館 ホール
参加者	53 人 (P)
配布物	案内文書・チラシ各校 2 部 当日資料各 1 部
他助成金	なし

内 容	<p>「はやぶさⅡ」に関することを中心に、日本の宇宙開発についての講演をいただき、日本の科学技術について見識を深める。</p> <p>①プラネタリウムなど 施設見学 (60 分)</p> <p>②講演会 (60 分)</p> <p>文部科学省科学技術政策研究所長内閣府大臣官房審議官でスーパーサイエンスハイスクールをはじめとする、高校、中学での科学者育成講演が行われている和田館長より、IT 人材育成の重要性、子宮頸がんの放射線治療技術の向上、原子力技術と地球温暖化対策等をお話しいたいただき、科学技術進展に携わる人材育成の重要性を学んだ。</p>
-----	--

研修のねらい	日本の科学技術の進歩について、専門家からのメッセージを聞くことで、神戸市立高等学校の教育内容の特色化を考え、その魅力を発信していくための方法を学ぶ。
--------	--

成果と課題	<ul style="list-style-type: none">•現在の科学技術の進展、地球温暖化をはじめとする世界の情報等が学べた。•これらの人類、地球の課題に対し、国際的に通用する研究者、技術者の育成は非常に重要であり、科学館の設置等で子供の頃から理科の勉強の大切さを理解させ興味を持たせていく必要性を認識した。
-------	---

特別支援学校PTA連合会

神戸市立特別支援学校PTA連合会 校種別研修会

～共に生きる社会を願って～

講師：笹森 理絵

社会福祉士 精神保健福祉士 睡眠健康指導士上級

神戸市発達障害ピアカウンセラー

開催日時	令和元年10月1日(火) 10:00～12:00
会場	神戸市総合教育センター 10階大ホール
参加者	266人(P・地域・学校)
配布物	当日資料400部・アンケート400部
他助成金	特支P連
内容	<ol style="list-style-type: none">1. 開会・挨拶2. 発達障害支援者として活躍する、笹森理絵先生による講演会(90分)3. 発達障害のある3人の息子の学齢期から就職に至るまでの育児を振り返って。～必要な理解と支援とは～4. 閉会・アンケート回収 周囲から理解されにくく、当事者の家族も辛い思いをする発達障害について、話していただくことで、多くの方に、理解してもらい、支援のあり方について考えてもらう。

研修のねらい	<ol style="list-style-type: none">1. テーマである「共に生きる社会を願って」ノーマライゼーションの考えを広めるための啓発活動を具体的に企画、運営する。2. 講演を通じて、障がいに対する理解と共感を深める。3. スライドショーや啓発チラシを通して神戸市の特別支援学校や子供たちを知ってもらう機会とする。
--------	--

成果と課題	<p>講師の笹森理絵先生に「共に生きる社会を願って」というテーマで講演をしていただいた。ご自身も障がいのある中で、3人の障がいのある子供を育ててこられた苦労や喜びなどについて丁寧にお話をしていたいただいた。参加者からは好評をいただいた。</p> <p>通常の学校の保護者に障がい児者の理解について啓発することができた。今後も講師の選定が重要になってくると思う。</p>
-------	--

神戸市PTA協議会おすすめの助成金

「市P協からの助成費だけでは足りない…」という区、市PTA連合会におすすめします。

(どちらかをご利用いただくことも、3つ全ての助成を受けることもできます)

◇神戸市PTA安全教育振興会「安全教育推進活動助成」

- 安全教育振興会のお見舞金制度「PTA総合補償制度」に加入する学校園で構成された、区P、単P等の連合体が主催し、独自の企画で運営する研修。
- PTA会員対象の、身体的な健康、交通安全、けが予防などに関する研修。
(癒し的なものは除く)

以上の条件を両方とも満たすものであれば、年1回に限り、1校種、1区につき5万円まで助成いたします。(2区以上、2校種以上合同で行う場合も、5万円×区数×校種になります。) 幼Pはブロック、高P、特支Pは連P単位で1区扱いとなります。

◇こうべっ子の家庭・地域教育活動助成基金「こうべっ子の助成基金」

- 神戸市PTA協議会の会員で、単位PTA以上の構成(区P、市P連等)団体が主催、企画、運営を行う研修(イベント含む)。
- 神戸市内で、広く地域の方や、子供、PTAを対象に行う研修。

以上の条件を両方とも満たすものであれば、1団体につき100万円を上限に研修総額の80%(ただし対象経費に限る)を助成いたします。(28年度より改定要項)

上記2つにはそれぞれ申請条件等がございます。この市P協研修助成に加えてご利用をお考えの場合は、事前に下記までお気軽にご相談ください。

PTAの皆様がかわになります♪

神戸市PTA
安全教育振興会

(月曜・金曜)

360-3455

神戸市PTA協議会

360-3453

こうべっ子の
助成基金

(月曜・木曜)

360-3453